



The Supporters Times

サポーターズタイムズ



衆議院議員 秋葉賢也 政策・活動レポート

「新生」の街づくりを 目指して



衆議院議員
自由民主党副幹事長

秋葉賢也

通常国会が始まりました。6月21日までの150日間です。去年は、大震災への対応に追われ、ほとんど通年国会のような状況で、戦後2番目に長い開催日数でした。

世界の陸地の0.3%の国土に、M7.0以上の地震の4分の1が集中している日本は、宿命として地震や津波を避けることができません。だからこそ今回の惨劇を教訓に後世にしっかりと活かしていかなばなりません。

災害に際して、特に重要だと思うのは、何といても①『情報の公開』です。民主党政権の致命的な失敗は、放射能に関する情報の発表が遅れたことにあります。また、津波情報の発信や伝達の体制にも課題が残りました。

留意すべきは②『脆弱な人工』です。人工の構造物では自然の威力を防げないことが明白になりました。三陸の田老地区のように、高さ10Mの二重の防潮堤を45年かけて整備しても、大きな被害を受けました。また、ギネスブックにも載る2000億円をかけた釜石の防波堤も大半が破壊されたのです。高台移転が重要だといわれる所以です。

③『文化の蓄積』も大事です。土木や先端の技術を文化でカバーするという視点も必要です。自然界には靈魂があると考える国は、日本とアイルランドだけだと読んだことがあります。日本では集落の背後の山地を奥山と里山に分け、集落に近い里山は利用するが、奥山は神の領域として人間は日常は入らない。こうして自然の恩恵を受けながら、自然の循環を維持し保全してきました。自然と共生する復興を志向していくべきです。

宮城県では「3.11伝承・減災プロジェクト」を実施予定です。いわゆるハード対策の限界を認識した上で、避難体制の充実などソフト対策を組み合わせた多重防災対策の一環として、防災意識が薄れることのないように、津波の痕跡を現地に表示し、後世に伝承していこうとするものです。とても有意義で優れた事業だと思います。1000年に一度の大震災の津波の記憶を決して風化させてはなりません。

結びに、女川小学校の5年生が書いた詩を紹介します。これは私が司会を務めた1月の自民党大会で、女川町長が披露したもので、思わず涙ぐんでしまいました。

女川は 流されたのではない
新しい女川に 生まれ変わるんだ
人々は負けず 待ち続ける
新しい女川に 住む 喜びを
感じるために



【活動ブログ】 www.akiba21.net 【ツイッター】 @akibakenya 更新中! 秋葉賢也 検索

島根県津和野の小学校の皆さんから届いた温かい贈り物
～東六郷小学校で学ぶ生徒の皆さんへ確実に届けました!～



後援者の方から、島根県津和野町の小学校(全校生徒数、9人)の生徒さんが田んぼを借りて作ったお米を、被災した小学生に贈りたいとの申し出があることを伺った秋葉代議士。早速、津和野町の小学生の温かい想いを、今回、東六郷小学校の生徒さん(全校生徒数、37人)へ届けるお手伝いをさせて頂きました。震災を通じて、子供たちの間に芽生えた「温かい絆」をととても美しく感じました。

丸森町立大内中学校閉校式で在校生にエール!



母校「丸森町立大内中学校」の閉校式で、『可能性の追求』というテーマにて記念講演をさせて頂いた秋葉代議士。馴れ親しんだ母校が閉校になるのは残念ですが、在校生の皆さんにとって新しい環境で新しい出会いが待っています。大内中学校の皆さん、頑張れ!!

～仙台リトルリーグの子供に夢を届けたい～

子供の頃、大の野球好きだったという秋葉代議士。プロ野球の道とは異なる政治の世界へ歩みを進めた秋葉代議士ですが、仙台のリトルリーグ会長として、野球を楽しむ子供たちを応援し続けています。昨年の震災で被災した仙台のリトルリーグの子どもたちの様子を目の前にして、夢に向かって勇気をもって一歩ずつ歩みを進めて欲しいと思ったという秋葉代議士。温かい想いは、子供たちの憧れ・楽天球団の島田社長からの優しい気持ちが届いた「クリスマスプレゼント」として届けられたそうです。



楽天球団の島田社長へお礼を伝える秋葉代議士

～仙台市卸売市場初セリ～

県議時代から、毎年1月5日は、「仙台卸売市場業務開始式」への参加が恒例となっている秋葉代議士。昨年の震災で、取扱高は水産物、青果、花き、食肉の各部門で前年に比べ大きく減少せざるを得なかった現場の現状を鑑み、国会では、被災地の農水産物取引高の拡大を図る施策に早急に取り組むことを、皆さんにお約束しておりました。

初セリで!



仙台市主催「新年のつどい」

官公庁の御用始めとなる4日、仙台市主催の「新年のつどい」が開催されました。昨年発生した東日本大震災で大きな被害を受けた仙台市と仙台市民の方々。今年の干支・辰のように、市民の皆さんの心に希望という光が届きますように。

1月から始まる国会では被災地(仙台)発の復興施策を提言し実現するという使命感が、秋葉代議士の胸に沸き起こっているようでした。



秋葉代議士の政治活動の原点です **現地 現場 主義**

タウンミーティング(国政報告会) 代議士を囲んで意見交換をしてみませんか

- 2月18日(土) 宮城野区 19時 @新田コミュニティセンター
- 2月24日(金) 若林区 19時 @蒲町コミュニティセンター
- 2月25日(土) 泉区 19時 @八乙女コミュニティセンター

二重ローン問題
1月23日から申請スタート
「震災前」債務の補助が受けられます!

補助内容 ▼住宅ローンの5年間の利子相当(上限50万円)
補助要件 ▼被災住宅に500万円以上の住宅ローン
▼住宅再建のために500万円以上の新たなローン
申請期間 ▼新たな住宅ローン契約時から3か月以内
【お近くの窓口】 仙台市住宅環境整備課 TEL 214-8330
宮城野・若林・泉各区役所にも窓口がございます!

皆さんとの語り合いを大切にしています

町内会の会合の席で国の新たな施策について説明する秋葉代議士。



皆さんのご自宅で、「国政親睦会」を開きませんか?



～ kenya's PLOFILE ～



- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、49才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業、東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
- (財)松下政経塾卒塾(第9期生 宮城県初)を経て、宮城県議会議員(三期)を務める。
- 総務大臣政務官などを経て、現在、衆議院議員(三期目)、自民党副幹事長(三回目)、シャドウキャビネット総務副大臣。
- 沖縄及び北方問題特別委員会筆頭理事、衆議院外務委員会委員、災害対策特別委員会委員、東日本大震災復興特別委員会委員、党外交部会長代理、情報調査局次長、ネットメディア局次長などを務める。
- 著書:『松下幸之助「最後の言葉」』(角川SSC新書)、『地方議会における議員立法』(文芸社)、『東北の夢創造』(ぎょうせい)。
- 趣味:スポーツ・音楽・映画。 ● 特技:書道三段・空手初段。
- 尊敬する人:松下幸之助・マザーテレサ。

秋葉賢也 事務所
www.akiba21.net
仙台市泉区上谷刈4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
購読料 年額6,000円
編集 株式会社ジャパン

※ お願い 本紙「サポーターズタイムズ」を是非ご購入ください
⇒ お申込みは仙台事務所までお電話(☎022-375-4477)を!!

ハガキや切手を、是非、カンパ下さい!

考えよう! 税と私たちの暮らし

消費課税

4年間税率
引上げない
はウン?

税率
引上げ

- ① 平成**26年 4月1日 8%**
(国税6.3%、地方税1.7%)
- ② 平成**27年 10月1日 10%**
(国税7.7%、地方税2.2%)

課税
適正化

事業者免税点制度

(対象:平成26年4月1日以降設立の法人)
資本金**1000万円未満**の新設法人に
関する**免税点制度**の適用除外。

- ⇒① 課税売上**5億円**を超える事業者が、
- ② **直接又は間接に支配**する法人を設立した場合、
法人設立**当初2年間** **課税** されます!

個人所得課税

平成**27年分**の所得から、現行の**所得税率**に加えて、
課税所得**5000万円超**について **45%**の税率適用!

現行40%

今年1月6日に政府が閣議決定した「**社会保障・税一体改革素案**」。これは、直ちに私たちの生活に大きな影響を与えるものではありませんが、政府は、関連法案を今国会に提出する予定です。従って、国会審議の如何によっては、わたしたちの生活に大きな影響を及ぼします!そこで、素案にある「**税制抜本改革**」のポイントをご紹介します!

資産課税

相続税の
課税ベースが
変わります!

対象:平成**27年1月1日**以降の相続又は
遺贈による取得財産

相続税の基礎控除

- ① **定額控除**
(現行)5000万円⇒(改正後)**3000万円**
- ② **法定相続人比例控除**
(現行)1000万円×法定相続人数
⇒(改正後)**600万円×法定相続人数**

相続税の税率構造

相続財産が**1億円以下**までは 現行と同じ税率!
(現行) (改正後)

3億円以下 の相続財産に 40%	⇒	2億円以下 の相続財産に 40%
3億円以上 の相続財産に 50%	⇒	3億円以下 の相続財産に 45%
	⇒	6億円以下 の相続財産に 50%
	⇒	6億円以上 の相続財産に 55%

民主党政権は、 私たちの暮らしを増税で圧迫しています!

知って
いましたか?

今年6月から**所得税の年少扶養控除廃止!!**
⇒そのため、**所得税は増額**されます!

来年1月
スタート!

復興特別所得税

- ① 平成**25年**から**25年間**継続
- ② 税率は、**2.1%**

仙台湾南の堤防再建もスタート!

~仙台湾南付近は12年度完成予定!住民の生活再建へつなぐ~



新仙台火力発電所の復旧状況を視察

~被災地で暮らす皆さんの暮らしに安心を~

昨年の東日本大震災で甚大な被害を受けた**新仙台火力発電所**に伺い、現在の復旧状況や今後の火力発電について懇談いたしました。震災当日、8メートルにも及ぶ波が押し寄せ、一階部分の発電施設が浸水した発電所。重油を燃料とし稼働から40年を経た**ボイラー1号機、2号機**。現在運転しているボイラー1号機は今後廃止され、津波対策措置を備え且つ**天然ガス**を燃料とする**3号機**の建設が予定されています。地域住民の皆さんが安心してエネルギーを利用できる環境整備が進んでいます。



被災地復興に全力投球

小さな声を大きく国政へ。秋葉賢也はいつでも見地見易主義!

復興庁 スタート!

復興施策の立案・予算調整等を担う「復興庁」が発足します。現地現場主義から、本庁の仙台設置を強く求めてきた秋葉代議士の提言からは、かなりトーンダウンした施策になりました。

復興庁(本庁):東京(本庁職員数約160人)

復興局:宮城復興局(仙台市)、

岩手復興局(盛岡市)、

福島復興局(福島市)

(各局職員数約30人)

支所:宮城(気仙沼支所・石巻支所)、

岩手(宮古支所・釜石支所)、

福島(南相馬支所・いわき支所)

(各支所職員数約4~6人)



~被災地の復興と日本の復活へ向けて 第79回自民党大会~ 東北選出の秋葉代議士が、大会の司会を務めました!



司会を務める秋葉代議士

前日からの雪が舞う中で第79回自民党大会が開催され、東北選出の秋葉けんや代議士と、森まさこ参議院議員が司会を務めました。被災地の復興と日本の復活の実現に向けて全力を尽くそうと公言する党員の皆さんの熱気で会場は盛り上がり、秋葉代議士も汗だくで最後まで司会を務めさせて頂きました。



宮城県物産展出店でPR!

大会では秋葉賢也氏(衆院比例東北)と森雅子氏(参院福島選挙区)が司会を務めた。秋葉氏は「震災復興と日本復活の新たな一歩を踏み出さなくてはならない」と参加者に訴えた。

1月23日 河北新聞

民主党マニフェストの「いま」

総崩れ!

公約その1	財源	・無駄の排除と予算の組み替えて捻出	現状	✕ 財源を捻出できず政策を見直し、消費税増税に言及
公約その2	子ども手当	・平成23年度から月額2万6000円を満額支給	現状	✕ 子ども手当を廃止し、児童手当を復活・拡充することで3党合意(平成23・8・4)
公約その3	高校授業料の無償化	・公立高校生を無償化、私立高校生には年額12万円を支給	現状	実施(政策効果を検証し、24年度予算に反映)
公約その4	農業の戸別所得補償	・戸別所得補償制度の創設により、農業を再生し、食料自給率を向上	現状	モデル事業を実施(政策効果を検証し、24年度予算に反映)
公約その5	高速道路の無料化	・高速道路を段階的に無料化	現状	✕ 3党合意により来年度予算に計上せず
公約その6	暫定税率の廃止	・ガソリンの暫定税率を廃止、2.5兆円の減税を実施	現状	✕ 24年度税制改正でも実現せず
公約その7	年金制度	・一元化で公平な年金制度創設のための法律を平成25年までに成立 ・年金通帳で消えない年金 ・月額7万円の最低保障年金	現状	✕ 「社会保障・税一体改革成案」(平成23年7月1日閣議報告)に具体的な記述なし ✕ 年金通帳の発行を断念 ✕ 最低保障年金の議論なし
公約その8	後期高齢者医療制度の廃止	・後期高齢者医療制度を廃止 ・2013年度から新しい高齢者医療制度をスタート	現状	✕ 「社会保障・税一体改革成案」に高齢者医療制度の見直しの記述のみ ✕ 廃止の有無、時期の記述なし
公約その9	介護	・ヘルパーなどの給与を4万円引き上げ	現状	✕ 「社会保障・税一体改革成案」に引き上げの記述なし
公約その10	天下りの根絶	・天下り、渡りの斡旋を全面的に禁止	現状	✕ 郵政会社の人事で典型的な天下りを実施 ✕ 現職の出向を認め、事実上の「天下り」を容認
公約その11	国家公務員人件費	・総人件費の2割(1.1兆円)を削減	現状	✕ メド立たず
公約その12	公共事業	・八ツ場ダムは建設中止	現状	✕ 建設継続を決定

・消費税率引上げ・TPPへの参加・普天間基地移設問題 マニフェストにない重要課題を一気に進める民主党政権